

地域の宝、次代に 腰切不動尊大祭



奉納しゃぎりを披露する田町しゃぎり保存会のメンバー＝三島市

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は28日、腰切不動尊大祭を同市南本町の同所で開催した。管理者がいなくなり、荒れ果てた同所の再生整備事業にGW三島が取り組んだのがきっかけ。江戸時代から住民が守ってきた地域の宝を、次世代に継承することなどを目的に実施している。

大祭には地元住民ら約50人が参加した。田町しゃぎり保存会が伝統の祭りばやし「しゃぎり」を奉納した。文化交流活動などを行うグローバル文化交流協会が、腰切不動尊の歴史などを解説する紙芝居を披露した。腰切不動尊に祭られている石仏が見つかったと伝わる御殿川で生き物観察会も行った。

松毛川周辺で植樹を行う参加者ら＝三島市御園の松毛川

GW三島 自然保護や文化活動

松毛川周辺で植樹、清掃



グラウンドワーク(GW)三島は27日、同市と沼津市の市境にある松毛川で「自然観察とふるさとの森づくり」を実施した。参加した専門学校ノアデザインカレッジ(静岡市葵区)2年の池ヶ谷孝一さん(19)は「体験を通じて自然について学べた。こうした作業が自然保護につながるのだと感じた」と話した。

トヨタ自動車が進めている環境保護プロジェクト「アクア・ソーシャルフェース」の一環。一般の参加者と同社関係者の計約200人が参加した。(三島支局・仲瀬駿介)